

平成25年8月9日

# 貧酸素水塊速報 (2013年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議  
神奈川水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会  
【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局  
第三管区海上保安本部 (独)国立環境研究所  
モニタリングポスト(海上保安庁,国土交通省 関東地方整備局)  
(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成25年8月5日～8日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部および川崎～横浜沖を中心に分布しています(図1)。また北部海域の多くの観測点では底層水が硫黄臭になっています。一方、湾奥の底層は酸素量が比較的高いです。

湾奥は濃い赤潮状態で海面が茶褐色になっています。

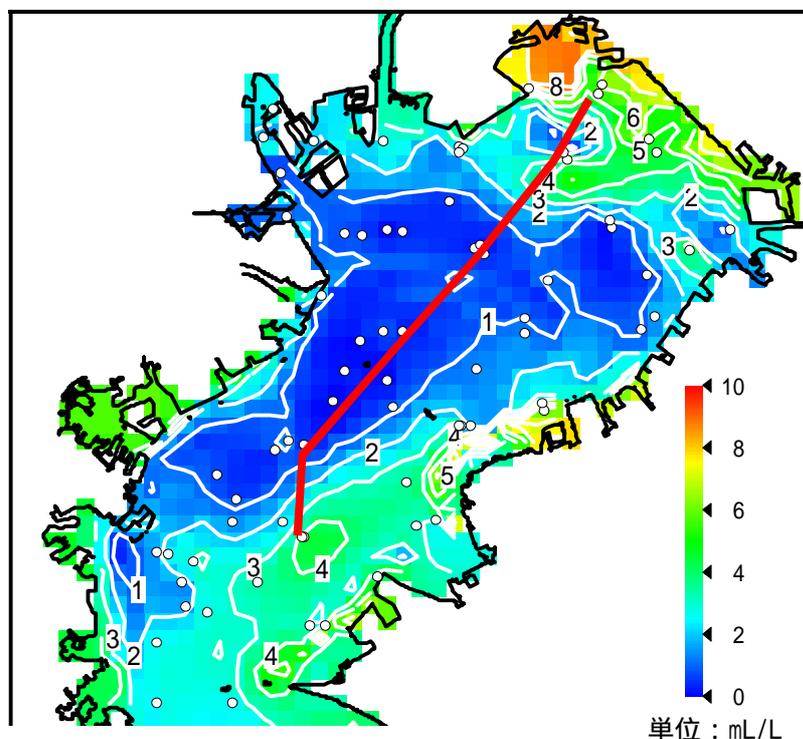


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

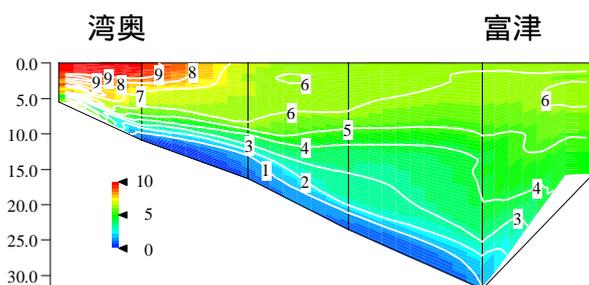


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

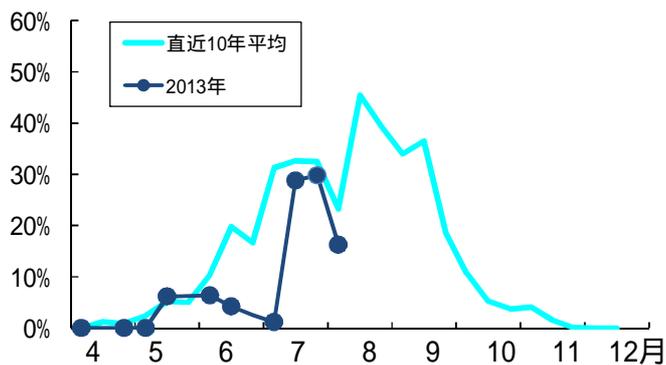


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5mL/L以下)が占める割合)